



筑波大学メールマガジン“ペテじゃーなる” 2014年12月-冬号

—OB・OGと学生を結びながら、懐かしさと新しさ香る筑波の風を季節の便りとしてお届けしていきます。

INDEX

- 1 突撃、雙峰祭レポート！～筑波大学は広いな、大きいな～
 - 今年もやってきました学園祭！その様子をまったりレポしてまいりました。
- 2 自転車乗ってどこへ行く？～つくばりんりんロード～
 - 筑波大生とは切っても切れないアイテム「自転車」
自転車ブームに乗ってあなたもサイクリングに出かけてみませんか？
茨城県南のサイクリングコースをご紹介します。
- 3 What's 春日キャンパス
 - 知っている人は知っている、知らない人は知らない春日エリアをご紹介。
最終回である今回は、「春日の食事情」についてお伝えします。
- 4 「教習生活のスゝメ」
 - 涙の合格、免許合宿体験記。
- 5 よりみち図鑑 vol.2
 - ふらりと歩いてみると、いつもと違う景色が見えるかもしれません。
- 6 ツクバネコスナップ
 - ツクバネコスナップ：つくばに住む私たちの小さな隣人、ツクバネコ。
彼らはつくばの冬をどのように過ごしているのでしょうか。
- 7 大気像
 - 硬派なコラム。

突撃、雙峰祭レポート！

1 ～筑波大学は広いな、大きいな～



ついにやってきました、学園祭！筑波大学の学園祭は規模も大きく、思い入れのある方も多いのではないのでしょうか。今年の学園祭は雨が降ったり、芸術専門学類の学生による毎年恒例の芸バーが中止になったりと、波乱も見受けられましたが、こちとらゆるりと突撃レポートしてまいりました。ちなみに私が参加したのは前夜祭と本祭2日目です。

まずは11月1日の前夜祭。この日はあいにくの雨でした。ステージでのパフォーマンスや屋台での調理は一時中止……。午後6時をまわり、お腹はすでにぺこぺこ。これ以上雨が続いたら今夜はコンビニ弁当か、と思っていた矢先に雨がやみ始めました。ここぞとばかりに目をつけていたトルコ人留学生によるケバブの屋台へ移動すると、すでに列ができていました。再開されたステージでの発表を遠巻きに眺めつつ並ぶこと30分。ついにケバブにありつくことができました、うまうま。お店の人がかっこよかったです、ダブルうまうま。

続いて11月3日の学園祭本祭2日目。よく晴れたお祭り日和でした。まず向かったのは漫画研究会のコスプレブース！ここでは500円で衣装を借りてコスプレの写真を撮ってもらうことができます。悩みぬいた末にメイド服(照れ)に決めてパシヤリ。できあがった写真を見てみると……う～ん、まあ、最近の修正ばっちりのプリント倶楽部とやらに見慣れちゃこんなもんよね。気を取り直してその後はカフェ、写真展、生物学類の学生による昆虫の標本展示などをまわり、筑波大学の幅の広さを実感したのでした。

11月4日。まだまだレポは終わりません。本祭2日目にさらっと昆虫の標本の展示を見たことを紹介しました。きれいな蝶から超特大サイズの蜂まで……。そう、超特大サイズの蜂まで……。私、なんとこの日、標本で見たあのビッグな蜂を宿舍内の階段付近で発見してしまったんです。5センチ以上はあったかな？展示していた学生の「筑波大学構内で捕ってくる虫も多いんですよ。」という一言が頭をよぎります。筑波大学の幅の広さを改めて実感してしまったのでした。



写真：屋台で買った愛すべき肉達。

(人文・文化学群日本語・日本文化学類4年河原 一愛)

自転車乗ってどこへ行く??

2 つくばりんりんロード~



皆様こんにちは！ お元気でしたか？

雙峰祭も終わり、大学では色づいた木の葉が大学構内を舞っております。

寒さは日ごとに増してきましたが、変わりゆく景色に目を奪われて。

目を閉じてみてください。つくばの秋の懐かしい思い出が……。

思わずにっこり微笑んでしまうような思い出は浮かんだでしょうか？

まさか、卒論執筆に追われている姿を思い出してしまったでしょうか。

さて、気を取り直して今回は自転車で行くプチトリップのご紹介です！

皆様は「つくばりんりんロード」というのはご存知でしょうか？

正式名称は「桜川土浦自転車道」といって、筑波鉄道の廃線跡地を活用して整備された全長 40.1km の大規模自転車道です。桜川市犬田と土浦市川口を結んでおり、桜川・つくば・土浦の 3 市を巡るのに最適です！

実はこの 3 市にはガイドブックには載っていない隠れた魅力がたくさんあるのです！！

自然・歴史・グルメを満喫したい方にはおすすめです！！

でも、わざわざ自転車で行くのもなあ……。

そう、思われている方はいませんか？

確かに県外の方が自転車を持ってくるのは大変ですよ。そんな方におすすめしたいのがレンタサイクルで

す。

土浦・つくばでは 1 日 ¥500/回で自転車を借りることが出来ます。子どもは半額で利用できます。

これなら家族でサイクリングを楽しむことも出来ますよね！

私の周りでは自転車がちょっとしたブームになっています。

「自転車の醍醐味って？」と聞くと、「風を切る爽快感！」「人力で遠くまで行けること」「手入れの手間が好き」など答えは様々でしたが自転車への愛情は十分伝わってきました。

筑波大学を卒業された方なら少なからず自転車にはお世話になったはず。

久しぶりに、相棒(自転車)と一走りしてはいかがでしょう。

何気ない景色が少し変わって見えてくるかもしれませんよ！

(人文・文化学群人文学類 2 年 太田 ありか)

3 What's 春日キャンパス



「同じ釜の飯を食った仲」という言葉があるように、人間が仲良くなるため同じ食事を囲むことは昔からの伝統だろう。それはこの筑波大学、この春日キャンパスにおいても同じである。春日エリアの実態をお伝えするこのコラム。第3回かつ最終回である今回は、春日の食事情についてお伝えする。

・春日食堂



学生の食事情を語るのに、まず欠かせないのが学内の食堂だろう。この春日キャンパスにも、他キャンパスと同じように食堂が存在する。春日福利厚生棟の中にあるこの食堂もまた、春日キャンパスであるが故の特色がある。利用する人数が他の食堂に比べて少ないため、食事の質や値段の面ではやや他の食堂に劣ってしまう(と言われている)。だが利用

人数が少ないが為に、利用者と職員の距離が近くどこか温かい雰囲気があるのである。「今日は何食べる?」「豚丼、大盛りで!」「はい」……こんな会話が聞こえてくることを、古き良き食堂とってしまうのは、果たして身内びいきなのだろうか。

・ラウンジ



春日福利厚生棟内、春日食堂の向かいにこのスペースはある。テーブルとカウンター、ソファが用意されているここでの食事は、自動販売機が提供するカップ麺に菓子パンだ。24時間解放されているこの場所では、時間それぞれの学生の姿が見られる。昼にはお財布が寂しい学生がカップ麺をすすり、夕方にはレポートが終わったご褒美か友人と談笑し

ながら菓子パンを食べ、夜には同期の仲間と課題を囲みながら熱い飲み物を飲む。そんな日常の1コマを、ここでは日夜見ることができる。常に開かれているこの場所と学生生活との密接度は、他のどんな施設よりも高いかもしれない。そのため、最近の消費税増税に当たって増税分以上の値上げをされてしまったカップ麺には、ちょっとした抗議の声が上がっている。

What's 春日キャンパス『春日の食事情』編、いかがだったでしょうか。今回紹介できなかったものとしてキャンパス外の飲食店があるが、これは春日キャンパスを紹介するという主旨から外れてしまい、また公平な観点から全てを紹介することができないため割愛させて頂いた。読まれた方には物足りない思いが強いかもしれないが、ご容赦頂きたい。もし希望などがあればまた別の記事にて紹介したいと思っているため、お気軽にご一報頂ければ幸いです。

さて、これにてこのコラムも終了となる。果たしてどれだけの方に我が愛すべきキャンパスを知って頂けたか、はたまた思い出していただけたかは、筆者である私には知る由もない。だが、少なくとも私にとっては有意義な執筆だったと思っている。自分の所属する場所に対し、一度振り返り他者へ紹介する為に見直すということは、ふと今まで意識していなかったことに気付かされるものだった。これからも、このような機会を持ち続けたいとも思える。……長々と思うことをただ書いてしまい、本題から逸れてしまった。もう書きたいことも無くなってしまったので、これにて終わりとしたと思う。

ご愛読、ありがとうございました。

(情報学群知識情報・図書館学類3年 伊藤 洸紀)

4 「教習生活のスゝメ」



過ぎし夏休み某日、念願だった自動車免許取得のため、隣県・福島県白河市まで、免許合宿に行つてまいりました。今回は、つらく苦しく、ちょっぴり心温まる、私の免許取得までの道のりを、簡単にレポートしたいと思います。

1. 到着



至白河駅。

白河地域には、新白河駅、白河駅と、『白河』の名前を持つ駅が2つ存在します。新白河駅には JR 東北本線というローカル線のほか、東北新幹線が乗り入れており、白河と都心とのアクセスを容易にしています。地元での通称は「しんしら」。言葉の響きが、なんだか「チ

ンチラ]みたいだ。というのは余談。

白河駅は東北本線のみでの乗り入れ。ただし、駅に「えきかふえ」というお洒落なカフェが併設されており、待ち時間や、単にデートやお茶の場所としても利用できます。駅舎もレトロかつかわいくって、とてもよい感じの駅です。ちなみに、自動改札機はありません。きっぷは駅員さんに、ぱちんと切って貰いましょう。

2. 初教習

教習所から白河駅まで送迎車にて迎えに来ていただき、教習所へ。運転手のおにいちゃん(おじちゃん??)が、気さくでとても良い人。

教習所は新しく、2階建ての教習センター+場内練習コース。建物は決して大きくはない。ところが、

入ってすぐ、待合スペースには、なんと多くの教習生が。びっくり。周りはほとんど山で、人の気配すらなかったのに。

そしてその後、教習生のほとんどが筑波大生であることが発覚。みなさん、サークルなどの一年生で、グループ割を活用して来ている模様。遠く福島の地で、まさか見知らぬ筑波大生とともに生活することとなるとは……と思ったら、大学で同じ授業を受けている後輩ちゃんとまさかの再会。さらにびっくり。その日は早速、午後から教習を受け、宿泊するホテルへ向かったのです。

3. ゆるきゃらフェス

滞在中に、白河駅前にて『ご当地キャラ こども夢フェスタ』なるものがあり、教習の合間を縫って遊びに行っていました。何が良くて、キタキュウマンが……！福岡のご当地ヒーローなのですが、ゆるいことこの上ない。芝生で寝ているのだもの。起きたと思ったら、こどものお菓子勝手につまんでるし(ちゃんと返した模様です)。素敵すぎる。

会えませんでした。我が茨城県のイバライガーも、遊びに来ていたようです。キタキュウマンとも仲が良いと言っていました。ツイッターで。そして、白河市発のダルライザーも、なかなか素敵でした。

また、各地のご当地(ゆる)キャラたちのなかでも、とりわけ北海道のキャラたちが、個性豊かでおもしろかったです。ヘヴィメタ系くまの「アックマ」さまとか。メロン熊は、ひたすら恐かった。あれは、大人でも恐れおののきます。教習所事務のお姉さんいわく、「まったくゆるくない」。



4. 教習生活

半分旅行気分で宿舎に臨んだ私にとっては思いのほか、教習生活はスケジュールびっしりでほとんど出かける暇はなく(ゆるきゃらフェスはかなり頑張って行きました)、毎日勉強漬けでした。

当然のことながら、教官との相性も合う・合わないがありまして、相性の良い先生に当たると、教習も楽しみなのですが、合わない先生だと苦痛です。私は仮免・本免の試験と、運の悪いことにどちらも一番相性の悪い教官に当たってしまいました。仮免はあまりの緊張で試験中終盤に涙を零すという事態に。運転に集中もままならず、当然不合格。再試験の際は、別の教官だったため、無事合格できましたが……。

本免では、泣きこそしなかったものの、試験後は不合格確実だと思い、試験後にぼろぼろと泣きながら、事務のお姉さんに転校の相談に行きました。そして一緒に試験を受けた、筑波大の後輩に当たる男の子にも、心配されて声をかけてもらえました。筑波大男子学生の、紳士のメンタリティに、更に涙。色々な方に、多大なるご迷惑をおかけしました……。教官にも、申し訳なかったと思っています。

しかしながら、本免の試験は奇跡の合格。みなさま様々な形でのサポートを、どうもありがとうございました。心から感謝、の一言に尽きます。

5. 学科試験

茨城へ帰ってきた後、水戸の免許センターにて、学科のペーパー試験を受けました。免許センター前バス停を降りたとたん、噂の『裏講』【注1】チラシを配られ、同時に食堂の割引券も渡され、茨城県民の商魂のようなものを知る。

免許センターは、訪れる人々から伺える国籍の多様さや、建物の雰囲気から、アジアの趣を感じました。以前滞在していた、タイの地方役場を彷彿とさせます。

試験は無事、一発合格。合格の瞬間は、久方ぶりに味わった、努力への報酬と感動を得ることができました。非常に嬉しかったです。

合格後、水戸在住の母に迎えに来てもらい、久しぶりにお茶をしました。感動を分かち合うことができ、近況を報告し合ったりもし、良いひとときを過ごすことができました。

以上で、私の体験記を終わります。簡単とは言いながら、長い文章にお付き合いいただき、本当にありがとうございました。また、白河は、まち並みもさることながら、だるまの絵付け、日本最古だとされる南湖公園、暖かいまちの人々と、書き切れない魅力がいっぱいです。休暇地として名高い、栃木県的那須高原も近いので、何かの折にはぜひ、お立ち寄りください！



【注1】学科試験当日の早朝に、当日限りの試験対策講習を行う塾。講習で出される問題は、本試験の問題に対して、驚異の一致率を持つとかなんとか。

(人文・文化学群比較文化学類 3年 首藤 繭子)

【参考リンク】

- ・白河市観光協会 <http://shirakawa315.com/>
- ・時空戦士イバライガー 公式サイト <http://www.ibaliger.com/>
- ・キタキュウマン 公式サイト <http://www.kitaqman.jp/>
- Facebook <https://www.facebook.com/KITAGMAN>
- ・茨城県警察 運転免許センター
http://www.pref.ibaraki.jp/kenkei/a03_license/info/license_center.html

5 よりみち図鑑 vol.2



こんにちは。日差しの中は暖かくても、日陰に入るともう冬が訪れている気がしますね。寒いのは苦手ですが、ぱりとした冬の空気は大好きです。そんなこんなで今回もよりみち図鑑始まります。

突然ですが、私の朝は戦争です。朝起きてから身支度やお弁当などの準備を済ませ、何とか1限に間に合うように学校に行きます。これは時間、いえ、自分との闘いなのです！！

なんのことやらと思う方もいらっしゃると思いますが、部活の時間がかなり夜遅くまでなので朝は時間が許す限り寝ていたいのです。

そんな中、私はある日いつもより10分ほど遅く起きてしまいました。あわあわしながら準備をし、お弁当を詰め、いざ登校！ 筑波大生恒例のイオンで買ったマイ自転車をぶんぶん走らせ、東大通りの信号待ちに少々怒りながら、目指す教室へと急いだのでした。よしついた！ そう思って教室に入るとそこはがら空き……。教室を確認してみても正しいので、焦って手帳を開いてみるとそこには「1限休講」の文字が……。ちゃんと確認しておけばよかったと思いつつ、せっかく急いできたのになんだか悔しかったので、時間を有効活用しようと思い1限おさんぽを実行することにしました。



普段は自転車で教室移動するため、普段はあまり歩くことのない学内。時間に余裕もあるたまには歩いてみてもいいじゃない、そんな思いで音楽を聴きながら歩いていると、ループ沿いが一面イチヨウの並木道になっているのを発見しました。

一の矢に住んでいたころはよく通っていたけど、しばらく来なかった道にすっかり懐かしくなりました。私が気付かないうちに木々は着々と冬への準備をしていたみたいです。予期せぬアクシデントも、ちょっといい気分になれてお得な気持ちになりました。

ふとした瞬間に周りを見てみると、季節の移ろいを感じられることが多々あると思います。みなさんも周りをちょっとみて、冬の始まりを感じてみてください。

(社会・国際学群国際総合学類2年 寺尾 侑子)

6 ツクバネコスナップ



11月になり、色づく木の葉と共につくばの森にも秋が訪れました……と思いきや、いつの間にか辺りを舞うのは落ち葉たち、コートやマフラーを身にまとう人たちの光景がしっくりとくるような冷たい空気がつくばの空を満たしています。そうです、冬がやってきました。冬の“足音”とは何だったのでしょうか。冬はものの数歩で私たちの隣までやってきたようです。

さて、そんなわけで作くばの地で私たちと共に生活を送るネコ、通称ツクバネコの生態にせまる連載、ツクバネコスナップ第三回。ネコはこたつで……と言いますが、ツクバネコたちはどのように冬をすごしているのでしょうか。今回はたまたま遭遇率が高かったこともあり、特別に豪華2本立てでお送りします。

【第三回】冬ネコ2本立て

①かごネコ

このツクバネコとの出会いは、寒さが肌を少しずつ刺すようになってきた11月のはじめ、春日地区の駐輪場でありました。

授業を終え、家に戻ろうと自転車を取りに駐輪場へ向かった私の目に飛び込んできたのは、三つ隣の自転車のかごで何やらもぞもぞと動く謎の影。そろそろと覗いてみるとやっぱりツクバネコでした。(ネコ記事を連載するようになってから、日常生活で出会う“謎の影”の正体のほとんどをネコで片づけるようになってきているのはまた別の話なのですが。)



授業を終え、家に戻ろうと自転車を取りに駐輪場へ向かった私の目に飛び込んできたのは、三つ隣の自転車のかごで何やらもぞもぞと動く謎の影。そろそろと覗いてみるとやっぱりツクバネコでした。(ネコ記事を連載するようになってから、日常生活で出会う“謎の影”の正体のほとんどをネコで片づけるようになってきているのはまた別の話なのですが。)

【写真】フィット感

まるでそこが最初から自分の陣地であったかのように我が物顔で、けれどこれ以上ないというくらいぴったりなサイズ感でかごのなかに収まっていたかごネコ。今は誰の自転車のかごでくつろいでいるのでしょうか。

②ツンデレ？ネコ

二匹目のネコとは10月の終り、春日地区から打って変わって、本学の中央図書館の前で出会いました。

こちらまた、図書館からの帰りに自分の自転車を探して駐輪場にいたときの事です。足元をすするとすり抜ける謎の影が。出ました謎の影。ツクバネコです。

少し離れたところからこちらの様子をうかがうネコ。なんだか私を待っているかのような気がして近づいてみることに。しかし、あと少し手が触れそう……というところでネコはすすると逃げてしまいました。



【写真】このどっちつかずの距離感

仕方ないとあきらめ帰ろうとすると、なにやら刺すような視線を感じます。後ろを振り返ればネコがまだその場に残ってこちらを覗いているではありませんか。かわいいやつめ、と再び近づくとやはり直前でネコは逃げてしまいます。いやいや今度こそ帰ろう、と自転車に足をかけるとやはり遠くこちらを見つめるネコが。近づくとやはり逃げてしまふ。振り返ればネコが。近づくと逃げる。

どっちなんだよ！

結局ネコには触れずにもやもやとしたまま帰宅することになったのでした。

ふと、今までのツクバネコたちとの出会いは初めての出会いばかりで、二度同じネコに出会ったことはないのかもしれないということに気付きました。あの日あの場所で出会ったネコは今どこで何をしているんだろう。なんとなく昔の友達を思い出すような気持ちになります。冬の訪れを感じる11月、そろそろ年賀状の準備を始める季節ですね。

(情報学群知識情報・図書館学類2年 大嶋 航平)

7 大 気 像



民俗学者の柳田國男は『明治大正史・世相編』で、「現代人は少しづつ常に昂奮して居る」と嘆息した。「稀に出現する所の昂奮といふものゝ意義を、段々に軽く見るやうに」なり、常に興奮と熱狂を求め。そんな人々の姿は、平成の今も変わらない。

雙峰祭は終わったが、未だに大学はお祭り気分だ。学生たちは Facebook に模擬店やサークルの写真を投稿し、「楽しかった！」と書き連ねる。講堂では学園祭の思い出話に花が咲き、授業を告げる鐘の音を掻き消す。キャンパスを彩る赤や黄色の木々が見向きもされないまま散っていくのが、何となく物悲しい。

とはいえ大学生活を終えキャンパスを離れると、学園祭の喧騒とは縁遠くなってしまふ。仕事に追われ満員電車で揺られ、息つく暇もない毎日。社会の喧騒に、常に昂奮「させられて」居る方も多いので

は。

11月5日は今年2度目の「十三夜」だった。国立天文台によると、中秋の名月に並ぶ美しい満月が眺められるこの日が年に2度訪れるのは171年ぶり。雲間に垣間見える鮮やかな月が、夜空に明るく浮かんだ。

柳田は言う。「(人々は)稍(や)々(や)疲れて来ると、始めて以前の渋いといふ味はひを懐かしく思ふ」と。晩秋の木々は美しく色づき、月が輝き星はきらめく。時には歩みを止め、自然の美しさを楽しむのも、また一興というものだ。

(社会・国際学群社会学類4年 原 啓一郎)



🍷編集後記

最近はめっきり寒くなりましたが、みなさんいかがお過ごしでしょうか。

私はというと、宿舎の心許ない暖房のもと卒論を綴る毎日が続いております。

寒いですが、冬はいいもんですね。炊飯器の中のご飯をしばらく放っておいても腐りませんもんね、ふふふ。
(編集長: 人文・文化学群日本語・日本文化学類4年 河原 一愛)

🍷おしらせ

<「ペデぶろぐ」について>

ペデジャーなるのブログを開設しています。投稿内容は「ペデジャーなる」の配信に関するお知らせやミーティング風景などなど。「ペデジャーなる」をもっと身近に感じていただけたらと思います。また、ペデぶろぐには連絡フォームもございますので、気軽にご要望や感想も送信することができます。

ペデジャーなる」とともに「ペデぶろぐ」もよろしく願います。

<http://pedejournal.blogspot.jp/>

🍷筑波大学 公式ホームページ: <http://www.tsukuba.ac.jp/>

🍷筑波大学 facebook: <https://www.facebook.com/univ.tsukuba.ja>

🍷筑波大学校友会 SNS「KUTTUK ba」: <https://alumni.tsukuba.ac.jp/>

(筑波大学校友会 SNS／筑波大学生涯メールアドレス 利用登録募集中!)

🍷編集・発行:「ペデジャーなる」編集ワーキンググループ

🍷デザイン・配信作業: 国立大学法人筑波大学連携・渉外室

🍷ご意見・問い合わせ先: 国立大学法人筑波大学 連携・渉外室

〒305-0821 茨城県つくば市春日 1-8-3 筑波大学春日プラザ 1階

TEL:029-853-2030 FAX:029-853-6576

gakuyu@un.tsukuba.ac.jp

🍇 配信停止をご希望の方

下記メールアドレス宛に『配信停止希望』の旨明記し、送信してください。

gakuyu@un.tsukuba.ac.jp

メールマガジンの一部または全部を無断転載することを禁止します。

Copyright © 2014 University of Tsukuba. All Rights Reserved